

次回第21回自然科学研究機構シンポジウムの開催日程が決定しました。

INDEX

1. 次回シンポジウムの開催概要速報
2. 第5回若手研究者賞記念講演参加受付中!!
3. 各研究機関のイベント情報
4. 最新の研究成果・ニュース
5. おわりに

1. 次回シンポジウムの開催概要速報

次回、第21回自然科学研究機構シンポジウム開催日・会場が決まりました。

開催日：2016年10月10日（月・祝）
会場：東工大蔵前会館（大岡山キャンパス）
参加費：無料
主催：大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
テーマ：「地球にやさしいエネルギーの未来」
内容：核融合から始まり、再生可能エネルギーなどの基礎研究やその応用可能性までの話題を取り扱う。
（上記の内容は変更の可能性あります。）

2. 第5回若手研究者賞記念講演参加受付中!!

自然科学研究機構では、新しい自然科学分野の創成に熱心に取り組み成果をあげた優秀な若手研究者を対象として「自然科学研究機構若手研究者賞」を授与しています。

この度、同賞の第5回受賞者による記念講演会を、下記の通り開催することとなりました。
本記念講演では、最先端の学術研究に触れ、科学に対する興味をより一層持っていただくことを期待し、高校生にも分かり易く講演を行います。

ぜひ、学生から一般の方まで、奮ってご参加ください。

日時：2016年6月5日（日）12:30～17:00
（ミート・ザ・レクチャラズ 16:10～17:00）
会場：日本科学未来館 7階 未来館ホール
東京都江東区青海2-3-6
参加費：無料
申込〆切：2016年6月1日（水）

詳細はhttp://www.nins.jp/public_information/05risingsun.phpまで。

3. 各研究機関のイベント情報

【国立天文台】

- ◆出張授業「ふれあい天文学」実施校募集中
<http://www.nao.ac.jp/news/topics/2016/20160408-fureai.html>
- ◆国立天文台・理研講演会 宇宙が物語る物質の起源（6/11開催）
<http://www.nao.ac.jp/news/notice/2016/20160425-naoj-lecture.html>

【生理学研究所】

- ◆第27回生理科学実験技術トレーニングコースの応募を開始しました！（8/1～8/5開催）

締切は6月17日（金）12時までです

対象：学部学生、大学院生（修士・博士）

若手研究者（Postdoctoral fellow・企業研究者含む）

詳細はhttp://www.nips.ac.jp/release/2016/05/27_1.htmlから。

4. 最新の研究成果・ニュース

【国立天文台】

- ◆アルマ望遠鏡、宇宙に満ちる謎の赤外線放射の起源を解明
<http://www.nao.ac.jp/news/science/2016/20160310-alma.html>
- ◆日韓合同電波望遠鏡群で探る巨大ブラックホールジェット～見えてきた「超光速噴出流」の現場～
<http://www.nao.ac.jp/news/science/2016/20160314-vlbi.html>
- ◆130億光年彼方での一般相対性理論の検証～アインシュタインは間違っていなかった？～
<http://www.nao.ac.jp/news/science/2016/20160511-subaru.html>

【核融合科学研究所】

- ◆LHDで高温プラズマ中の新しい突発現象を発見 ー 大振幅波の突発的発生とその機構の解明 ー
http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_269.html
- ◆電気の父「ファラデー」が発見した現象を起こす光学素子を焼き物で作る ー プラズマ計測の精密化に向けて ー
http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_270.html
- ◆核融合研究が更に進展 ー ヘリウムプラズマでイオン温度が上昇 ー ー 実験データと計算データを融合し、バーチャルリアリティで表示 ー ー タングステンと銅合金の新たな接合法を確立 ー
<http://www.nifs.ac.jp/press/160405.html>
- ◆核融合炉中のプラズマの振る舞いの予測を目指して ー 複数粒子種間の衝突現象を計算機で再現 ー
http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_271.html
- ◆プラズマの新しい閉じ込め状態を発見 ー 日米合同研究グループの成果 ー
http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_272.html

【基礎生物学研究所】

- ◆日長時間でオスとメスが決まるミジンコの性決定機構にはパントテン酸（ビタミンB5）が関与する
<http://www.nibb.ac.jp/pressroom/news/2016/04/26.html>

【生理学研究所】

- ◆「見て触れる」経験が「見る」仕組みを変える？ 脳の「視覚野」が手触りの経験によっ

て変化することを発見？

http://www.nips.ac.jp/release/2016/03/post_317.html

◆末梢神経損傷によって未熟化した神経膠細胞（グリア細胞）が 難治性慢性疼痛を起こす脳内回路を作る？ 難治性慢性疼痛の予防・治療に期待？

http://www.nips.ac.jp/release/2016/04/post_318.html

【分子科学研究所】

◆ヒドリドイオン“H⁻”伝導体の発見？水素を利用した革新的エネルギーデバイスの開発の可能性？（小林特任准教授ら）

https://www.ims.ac.jp/news/2016/03/18_3422.html

◆味覚受容の第1段階で起こる味覚受容体の構造変化を解明（秋山教授ら）

https://www.ims.ac.jp/news/2016/05/11_3465.html

5. おわりに

10月10日（月・祝）開催の「第21回自然科学研究機構シンポジウム」について、概要が決定し、準備も着々と進めております。今回は東京の東工大蔵前会館（東京工業大学大岡山キャンパス）での開催となります。社会的な関心の高いエネルギーの話題に関連した研究の最前線を紹介する予定ですのでどうぞ楽しみにお待ちください。

また、6月5日には例年たくさんの方にご来場いただいている若手研究者賞記念講演が開催されます。こちらもぜひご参加ください。

新年度が始まり1ヶ月半が経過しましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。自然科学研究機構は本年度も様々なイベント、情報を提供していきますのでどうぞよろしく願い申し上げます。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。
ご意見等ございましたら、nins-kikakurenkei@nins.jpまでお寄せ下さい。